

市政報告 「明日の習志野」 第15号

完全無所属

発行者：習志野市議会会派「明日の習志野」
代表 大宮こうた



豊かでワクワクする未来を拓く！ 都市計画マスタープランを改訂中

習志野市は、都市計画マスタープランについて、2015 年以来となる改訂に向けて作業を進めています。このプランは、都市計画法に基づいて、都市基盤の整備方針を定めるものです。私は、「**まちの未来を拓くために、市民の想いをしっかりと反映させるべき**」と考えて、意見書を出す等、積極的に取り組んでいます。会派による主な主張についてご紹介します。

① 成田空港・羽田空港とつながる駅前・沿線開発を！

成田空港では「**第 2 の開港**」といわれる機能拡張が進められています。この取組で、空港スタッフは 3 万人、旅客数は 1,800 万人も増える見込みです。京成線で成田空港につながる習志野市は、この拡張で増える人の流れを活かしてにぎわいを増やしていくために、駅前や沿線のまちづくりをもっと進めるべきです。

羽田空港については、**アクセス線臨海部ルート（羽田空港と新木場駅を約 20 分で直結）が 2031 年度に開業**すると、新習志野駅から羽田空港まで約 40 分で行けるようになります。このルートによって沿線開発の機運が高まっている京葉線において、新習志野駅周辺で新しいまちづくりにチャレンジするタイミングです。

機能・アクセスが向上する成田・羽田空港との連動は、習志野市のまちづくりにとって **50 年に一度の大チャンス**であり、**大きな方向性を都市計画マスタープランに盛り込んで取り組むべき**です。

② ワクワクが生まれ、つながり、広がる新習志野駅周辺へ！

市は「新習志野駅勢圏の活性化」を決定し、新たな土地活用に取り組んでいます。私は、駅周辺・ベイエリアを見わたして、**①利用・高さ制限の見直しによる新たな土地活用の促進、②千葉市・船橋市との協力による回遊性・連動性の向上、③海辺の活用によるにぎわい創出、**といった具体策を提示し、ワクワクする新しいまちづくりをリードしてきています。

習志野市は、このプランの改訂について、**11 月 1 日～30 日**で市民の皆様からご意見をいただく**パブリックコメント**を実施します。市ホームページからご覧いただくか、私までご意見をお寄せください。**豊かでワクワクする未来をみんなで拓いていきましょう！**



2026 年 9 月議会。千葉豪雨による被害を踏まえて、防災のみならず、市政全般において、想定外を想定内にしていくことの重要性を強調したうえで、まちづくりをリードするという決意で議論しました。



8 月 25 日、来年度予算に向けて要望書を市長に提出しました。市全体を見わたしたうえで、大きなビジョンの下で前向きなまちづくりを進めていくことを提案しました。



9 月から 10 月にかけて、新習志野駅の駅前広場で音楽フェス、アートフェス、フリーマーケットが開催されました。ワクワクするにぎわいが生まれ、つながり、広がっていく駅前にする取組が始まっています。

市の財政、抜本的な立て直しを！

【政治屋と政治家】

今回ご報告した財政状況は、明るい話題ではありません。しかし、だからこそ、市民の皆様としっかりと共有し、その解決策を練り上げて実行していきたい、と考えています。

市議会議員は、二元代表制の下、市長による市政の執行を監視し、その改善を提起する責任があります。厳しい状況に対しては、批判や指摘をするだけでなく、具体的な改善策を提示することが求められています。また、市議は、新規事業を市に要望するだけでなく、時代の役割を終えた事業の廃止等、厳しい判断をするように提起していく責任もあると考えています。

「政治屋は次の選挙を考え、政治家は次の時代のことを考える」という格言を忘れずに、私は、未来への大きな責任とともに、まちづくりをリードしていきます。

習志野市の財政は大変に厳しい状況です。市は、これまで計画的に進めてきた新清掃工場の建替えについて見直しを表明しました。さらに、今年度予算の編成において、「市の預金」といえる基金が急激に減少する見通しが示されました。例えば、災害等の不測の事態に備えるためにある「財政調整基金」は、習志野市の規模では少なくとも39億円程度が望ましい積立額ですが、今年度末にはこの基金が21億円に減少してしまう見込みです。

私は、この厳しい状況に対して、「**選択と集中**」、「**未来への投資**」という2つの観点で、全事業をゼロベースでチェックして財政を立て直すべき、と提起しています。特に、500億円以上の予算が必要とされる清掃工場の建替えは、**可燃ごみ焼却施設は延命化して将来は近隣市との共同化**、他のごみの処理施設は自前で建設、という現実的な方針転換を提案しています。このような提案を含めて、会派から市長に対して、**財政に関する緊急要請を10月6日に提出**しました。

「**財政運営は議会で議論、承認する**」という財政民主主義の考え方を大事にして、厳しい財政状況について市民の皆様と共有しながら、具体的な提案とともに立て直しに取り組んでいきます。

オンラインでの報告：毎月行っています！

毎月一回、オンライン（Zoom）で、活動報告や意見交換を行っています。開催については以下のWebサイトでご案内します。「聞いただけ」、「画面OFF」でも構いません。お気軽にご参加ください。

<https://www.omiya-kota.jp/meeting/>

会派・所属議員の紹介

【会派】明日の習志野（あすのならしの）

2023年5月、ワクワクする習志野をつくるために結成された会派。特定の政党や組織の支援は一切受けずに、**対話、現場主義、前向きな提案**を活動指針としている。

【所属議員】①大宮こうた

1980年7月生まれ、1期目。東京大学教養学部卒、米国シラキュース大学行政大学院修了。JICA（国際協力機構）勤務後、**ワクワクするまちづくりで習志野を盛り上げるため、完全無所属**で2023年4月の市議選で当選（3位）。

ともに、明日の習志野へ

日常的な発信はブログ、X、Instagram、Facebook、Youtube等で行っています。オフィシャルサイトのリンクからご覧ください。**市政報告のバックナンバーもサイトからご覧いただけます。**ご要望、ご意見等もお待ちしています。

特に、一緒に習志野を盛り上げたい方、習志野市政に挑戦したい方、ぜひご連絡をいただければ幸いです。ともに、明日の習志野に向かって、習志野市政に前向きでワクワクする変化をもたらしていきましょう！

【連絡先】✉ info@omiya-kota.jp

☎ 090-9130-9434



ともに、明日の習志野へ